

アフリカ等途上国の農業生産拡大支援

【49（61）百万円】

対策のポイント

栄養不足人口が集中するサブサハラ・アフリカ地域をはじめとした開発途上国において、農業等の生産を拡大、生産から販売までの技術指導、フードバリューチェーンを含むアグリビジネスモデルを構築するための実証モデル試験等を実施します。

<背景／課題>

- ・近年のバイオ燃料の利用の増加等を背景とした世界の穀物需要の増加及び価格の不安定化の傾向は、相対的に貧しいサブサハラ・アフリカ地域に特に悪影響をもたらす可能性があり、人口の過半数が農業に従事しているアフリカの農業分野への支援は、益々重要となっています。
- ・また、近年、我が国では、TICADIV等の国際会議での議論を踏まえ、コメ生産倍増イニシアティブなどアフリカへの協力を重視しています。
- ・2015年までのASEAN経済統合により、ミャンマーやベトナム等のASEAN後発国では、貧困層が多くを占める農村部において、生産される農産物等のASEAN域内の他産地との競合や、農村労働力の流出などが懸念される状況となっており、農業分野の支援は重要となっています。

政策目標

途上国の農業等協力に係る現地活動支援事業に関し、

1. 対象地域で指導を行った小規模農民の7割が指導した技術を導入する
2. サブサハラ・アフリカ地域において、小規模農家の所得向上に資する民間企業等によるアグリビジネスモデルを3件以上構築する

<主な内容>

1. アジアにおける貧困削減と持続的農業の推進のための技術指導

16（15）百万円

ベトナム・ミャンマーにおける農村部の農業事情及び農家の営農実態調査を行い、バリューチェーン構築に必要な生産や流通等に係る技術指導を実施します。また、域内においてバリューチェーンの各段階の担い手に対しワークショップを開催し、人材育成を図ることにより、我が国が有する先進的な技術や経験・ノウハウを導入し、貧困削減と持続的農業の推進を支援します。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

2. サブサハラ・アフリカにおけるアグリビジネス展開・促進実証モデル事業

33(34)百万円

フード・バリューチェーン構築を含むアグリビジネスモデルを構築するための実証モデル試験等を実施し、その成果をセミナー等を通じて広く周知することにより、サブサハラ・アフリカ地域における小規模農家の収入機会の確保・所得向上及び民間企業等によるアグリビジネスの展開・促進を図ります。

補助率：定額
事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：大臣官房国際部国際協力課(03-3502-8058(直))]

アフリカ等途上国の農業生産拡大支援のうち、アジアにおける貧困削減と持続的農業の推進のための技術指導

背景・課題

- 2015年のASEAN経済統合により、貧困層が多くを占める農村部においては、生産される農産物等のASEAN域内の他産地との競争や、農村労働力の流出などが懸念される状況。
- このような状況の中、農村部の小規模農民の所得の向上を図るには、生産・加工・流通・販売に至るフードバリューチェーンの構築が重要。近年、交流が活発となり認識が一致しているベトナム、ミャンマーが対象国。
(2014年6月にハノイで日越農業協力対話大臣会合を、同年9月にネーピードーで日ミャンマー農林水産業・食品協力対話大臣会合を開催。ベトナム及びミャンマーにおいて、フードバリューチェーン構築に向け我が国と相手国の官民が連携して取り組むことに合意。)



事業内容

事業実施主体: 途上国の農業に知見を有する民間団体等(企業、NGO等)

事業実施期間: 平成26年度～平成28年度(3年間)

【農業事情及び農家の営農実態調査】

- 貧困農村地域を取り巻く農業事情及び農家の営農実態調査を実施し、必要な技術指導内容を決定。

【貧困削減と持続的農業の推進のための技術指導】

- 生産・加工・流通・販売に至るフードバリューチェーン構築のため、農産物生産増大及び生産性の向上、肥料、農薬の適正使用や環境保全型農業、農産物等の流通・販売の改善等について、日本製の農業資材を活用しながら、農民・農業関係者に指導を行う。

【成果調査・フォローアップ及び評価検討】

- 指導技術の導入状況について調査を実施、適宜フォローアップ。有識者による評価検討委員会の開催。



効果

- ASEAN地域における農業生産の増大と生産性の向上による我が国を含むアジアの食料安全保障への貢献。
- 我が国の先進的な技術やノウハウ等の日本方式をシステムとして導入し、日本製品等の現地への展開に寄与。

サブサハラ・アフリカにおけるアグリビジネス展開・促進実証モデル事業

- サブサハラ・アフリカ地域の貧困削減を図るため、農家の所得向上及び民間企業等のアグリビジネス展開・促進に資する実証モデル試験等を実施する他、本事業により得られた成果をセミナー等を通じて広く周知する。
- また、地元農家、NGO、現地政府、民間企業等間のパートナーシップを構築することで、アグリビジネス展開のみならず、生産性や品質の向上を図り、貧困削減につながる持続的な農業生産を可能とするモデルの構築を行う。

1 アグリビジネス実証モデル試験

(1) 実証モデル試験

資機材等を試験的に導入し、農家の所得向上を通じた貧困削減等に資するアグリビジネスモデルを構築するための実証モデル試験を実施
(例)

- ・耕作機械の導入による労力軽減
- ・精米機導入による品質向上
- ・加工機器導入による付加価値向上 等

(2) 試験結果分析

実証モデル試験結果の分析

2 アグリビジネス展開・促進

(1) 調査・ヒアリング

民間企業等がサブサハラ・アフリカ地域において、農家向けアグリビジネスを展開・促進するにあたり必要となる事項について調査や政府関係者等へのヒアリングを実施

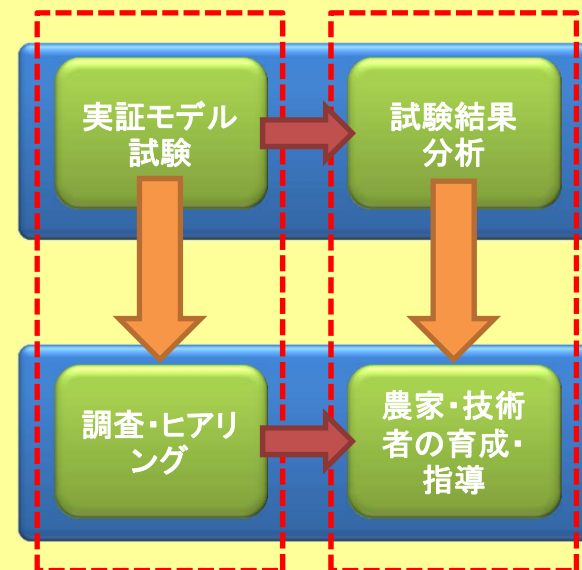
- ・農家への農業生産支援、外国資本等に関する法制度
- ・農家向け金融(マイクロファイナンス)の状況や法制度
- ・潜在的なビジネスパートナーについて 等

(2) 農家・技術者の指導・育成

持続可能なアグリビジネスモデルとするため、専門家等を派遣し、資機材等の使用や維持管理方法等について農家・技術者を指導・育成

3 成果報告

我が国の民間企業等を対象に、セミナーの開催や報告書の配布等を通じて、サブサハラ・アフリカにおけるアグリビジネスモデルを構築する上での具体的な課題や対処方針を紹介



効果

- サブサハラ・アフリカ地域の農家の収入機会の確保・所得向上
- 民間企業等によるアグリビジネスの展開・促進 (本邦企業等のビジネス展開を支援)